

対象患者：胃癌

レジメン名：ゾルベツキシマブ+mFOLFOX6

1コースの日数：14日

催吐性リスク：高度

血管外漏出リスク

ゾルベツキシマブ：不明

オキサリプラチン：壊死起因性抗がん薬

フルオロウラシル：炎症性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day				
						1	～	8	～	14
1	パロノセトロン ホスネツピタント デキサメタゾン d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.75mg 235mg 9.9mg 5mg	点滴静注	メインルート	30分	○				
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
3	ゾルベツキシマブ 生理食塩液	800mg/m ² (1回目) 400mg/m ² (2回目以降) (投与量×0.45)mL *2mg/mLに調製	点滴静注	メインルート	0～30分：50mL/h(1回目) 25mL/h(2回目以降) 30～60分：100mL/h(1回目) 50mL/h(2回目以降) 60～90分：150mL/h(1回目) 75mL/h(2回目以降) 90分以降：200mL/h(1回目) 100mL/h(2回目以降)	○				
4	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
5	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
6	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	点滴静注	メインルート	2時間	○				
7	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	側管	2時間	○				
8	フルオロウラシル 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	急速静注	メインルート	5分	○				
9	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
10	フルオロウラシル 生理食塩液	2400mg/m ² (115-投与量)mL	持続静注	メインルート	46時間	○				

点滴順序：Rp1→2→3→4→5→6(7)→8→9→10

投与時間：48時間30分+α(ゾルベツキシマブ投与時間)

備考：

Rp6,7は同時投与する。

Rp10はインフューザーポンプを使用する。

制吐剤として下記を内服する。

- ・ロラゼパム0.5mg/day 分1(*day0-1)*治療開始前夜、朝食後
- ・レバミピド300mg/day 分3(*day0-1)*治療開始前夜、朝・昼食後
- ・デキサメタゾン8mg/day 分2(day2-4)

ゾルベツキシマブはday1の18時には点滴終了する。